

軍極秘

海軍功績調査部長殿
第三十二特別根據地隊機密第八號

昭和十九年十一月十五日

第三十二特別根據地隊戰鬥詳報第一號

(所屬艦艇ノ分)

自昭和十九年九月二日
至昭和十九年十月二十八日

第三十二特別根據地隊

1677-

目次

特設驅潜艇第二鷄丸戰鬥詳報

特設捕獲網艇第一號東光丸戰鬥詳報

特設驅潜艇第十二京丸戰鬥詳報

特設驅潜艇第十五日出丸戰鬥詳報

第十五號驅潜特務艇戰鬥詳報

第五號輸送艦戰鬥詳報

第三號輸送艦戰鬥詳報

（爲參考）

（目次終）

1678

1

昭和十九年九月五日

特設驅逐艦隊三隻九戰闘詳報

一 形勢

昨島(ミンダナオ)島空方面ハ敵潛跳梁ヲ昭和十九年九月一日

以降高島燈台附近ニハ敵機ヲ編隊ニ依ル銃爆撃ヲ

開始時ニタバオ及サカガニ方面陸上施設航行在港

艦船三對スル攻撃手ハ激化シアリ

二 天候

半晴 風速始ンドナシ海上靜穩

三 詳報

昭和十九年九月五日敵機三〇機海軍航空隊緊急人員

機群ハ大機群ヲ開始三機五時終機直ニ敵機

群ニ對シテ島空方面ハ中鎗地北南ニ米二機泊九月五日未明

原稿不鮮明

1673

四 經 過

四十分出港第一東光丸ヲ指揮艇トナシ「サシボア」ガ經由
 「ネグロス」島「バコロ」ニ向ケ航行同日十九時指揮艇ニ續
 航「ツバラン」灣ニ假泊右舷錨投入（三節半）
 碇泊位置（北緯六度三〇・二分 東經一三五度三四・六分）東光丸三百五十度方向一千八百米碇泊
 本艇積載物資 約三〇噸
 便 乘 者 五二名

時 刻	日	自 艇	戰 闘 經 過
一九四四年四月一日	〇	「サマール」島錨地後「ササ」ガ經由「ホグロス」島「バコロ」ニ向ケ出港	
一九四〇	〇	「ツバラン」灣南西部水深三十米投錨假泊	
〇〇四二五	日	「オ」方向上空高度爆音聞クモ一時絶エ	
〇〇五二		爆音ヲ聴取敵機ト認メ本艇直クニ「サシボア」ガ發砲集中交戦	
〇〇五五		「サシボア」ガ發砲一連ニ發射艦體著シテ動搖外板破壊他ノ一彈艦體	
〇〇五七		沈没 位置 東緯一五度三四・二分	

五、行動圖及合戦圖(別紙)

船首方向二百六十度 敵機来襲方向百五十度 高度七十米

六、戦果及被害

(一) 戦果 不明
(二) 被害

本艇被爆沈没生存者乗員十九名便乗者四十三名
不明十九名(内艇長下士官一名兵三名軍属四名便乗者九名)
生存者内乗員中傷者二名打撲傷者十三名

七、功績

本艇輸送任務ニ從事中ニシテ其ノ功績ハ等級第六ニ
該當スルモノト認ム

八、重要書類ノ處分

本艇被爆沈没シテ機密圖書及重要書類ヲ處分スル暇ナク九月二日四時三十分
第一東光丸ニ救助サレ同艇ノ援助ヲ得テ附近海面ノ捜査ヲナスモ發見セズ同七時
四十分捜査打切りタバオニ向テ歸途ニ就ク

(終)

昭和十九年九月九日

特設捕獲網艇第一號東光丸戦闘詳報

一 形勢

九月九日、バオ方面ニ敵艦載戰爆連合ノ編隊來襲陸上施設ハ勿論海上ニ於テハ如何ナル小艇ト雖モ悉ク之ヲ爆撃ナリ行ヒタリ特ニ敵機ハ「マル」島周邊ニ避退シアル船艇ニ對シ綿密ナル攻撃ヲ續行セリ本艇ハ「マリパ」泊地ニ於テ特設驅替艇第十五日ノ出丸ト並列極力接岸シ迷彩ヲ施セルタメ連日來襲セル敵機ノ發見スル所トナリザリシモ同日一七二〇北方ヨリ來襲セル敵機四機編隊ニ逐ニ發見セラル

二 天候

半天晴 風向南 風速二米

三 經過

(一) 自艇、戰鬥經過

月日	天候時刻	自艇、戰鬥經過	友軍戰鬥經過概要
九	九	敵グラマン戰鬥機四機來襲	地上砲火ニ應戰
一七二〇	對空戰鬥(主戰機銃三)		僚艇特設驅替艇第十五日
一七二二	敵機急降下銃撃開始		二機ハ戦死

一七三二	グラマン	戰鬥機一機(三番機)擊墜
一七二二	捕獲網甲板	墜落ト同時ニ爆彈炸烈
一七二五	他ノ敵機	擊退
一七三〇	總員退去	(機銃破産表タノ消火不可火勢大トナリ)
二三〇〇	沈没	(爆雷誘爆ニヨリ)
九一一	晴	二〇〇〇機密圖書海中沈下處分(海深二〇〇米海圖依ル重録)

第十五日、出丸グラマン
戰鬥機一機密墜

四、戰果及被害

本艇被爆沈没戦死三（准士官下士官） 敵手隊主

負傷首輕重傷傷五三

五、功績

極ノテ旺盛ナル攻撃精神ノ下敵機一機ヲ確實ニ撃墜セル各機銃員ノ功績顯著ニシテ等級第二ヲ下ラサルモ、ト認ム

終

昭和十九年九月十二日
特設驅潜艇第十二京丸戦闘詳報

一 形勢
「形勢」
「オ島」方面ニ來襲シ且強力ナル機動部隊ヲ以テ菲島方面ヲ窺ヒ機ヲ得ハ菲島ニ上陸作戰ヲ敢行シ之ヲ奪回セントノ企圖ヲ有セルモノノ如ク軍事施設及艦船ニ對スル綿密ナル攻撃ハ益激化シアリ本艇九月十二日白峰丸船團護衛「ザンボアング」ヨリセズ「回航」航路上ニ於テ敵空襲ヲ受ク

二 經過
（一）自艇ノ戦闘經過

月日	天候時刻	自艇ノ戦闘經過	記事
九一二	半晴 一〇三〇	敵戰爆聯合二十四機來襲	
同		對空戦闘	

三戰果及被害

一戰果
二戰果
三戰果

本艇搭載個有火器ハ八種水平砲一門又ルノミニシテ臨時ニ裝備セル鹵獲十三粒機銃二挺ヲ以テ對空火力ノ主力トシタルヲ爲充分ナル對空威力ヲ發揮スルヲ得サリキ

(二) 作戰ニ影響セル事項

一〇三五	「グラマン」戦闘機二機撃破	白煙ヲ吐キ編隊離脱
一〇四五	被弾ニ依リ補助蒸氣管破碎操舵装置軸桿折損	
一〇五〇	八種砲並ニ各機銃破損シ戦闘航海不能 (北緯一〇度四五分東經一二四度〇五分)投錨	
一〇五五	爆雷誘爆防止且破損個所復舊作業	
一四三〇	戰爆聯合延約三十機來襲銃爆撃手ニ依リ機庫火災消火ニ努ム	
一六三〇	總員退去	
一六四〇	沈没(右投錨地點)	

四

参考

被害

本艇被爆沈没

戦死八名

重傷三名

輕傷八名

五

功績

本艇裝備不充分ナル對空火器ナルニモ不拘士氣旺盛ニシテ終始良ク敢闘「グラマン」戦闘機二機撃破、戦果ヲ擧グルニ至ル之一重ニ全員ガ現裝備兵器ヲ最大限ニ活用シカ戦奮闘ニ依ルモノト思考ス
右戦訓ヲ鑑ミ日々戦闘訓練及一致團結ハ如何ナル新兵器ヲモ凌ギ得トシ確信ヲ得タリ

本對空戦闘中敵「グラマン」戦闘機二機ヲ撃破セリ
依テ十三機銃員ノ功績等級第三ニ値スルモノト認ム

(終)

昭和十九年自九月十四日

特設驅替艇第十五日ノ出丸戰鬥詳報

一、形勢

本艇ハ「バオ」灣「サマル」島「マリパ」錨地九四米高地西側陸岸ヨリ約七米ノ位置ニ艦首ヲ南々東ニ横付繫留（本艇々尾約八米ノ位置ニ東光丸繫留中）艇全部ヲ竹椰子雜木等ヲ以テ迷彩ヲ施シ極ウ蔭蔽ニ努メタル結果連日ノ敵機偵察ニモ發見セラレザリシモ九月九日敵艦載機群來襲「サマル」島周邊ニ避退シアル艦艇ニ對シ綿密ナル偵察ヲ行ヒタリ本艇同日一七二〇北方ヨリ來襲セル敵一群四機編隊ニ發見セラル

二、天候

九月九日 半晴 風向南 風速二米
九月十四日 半晴 風向南 風速一米

三、經過

(一) 自艇ノ戰鬥經過

月日 天候 時刻 自艇ノ戰鬥經過

九 九 半晴 一七二〇 敵「サマル」戰鬥機四機 距約二〇〇米 高度約十五度

友軍ノ戰鬥經過概要

「バオ」地亞戰艦部隊地上砲火ニテ應戰

一四二四	「グラマン」戦斗機一機白煙ヲ吐カシム
一四二五	十三耗機銃被弾使用不能
一五二〇	敵機超低空銃撃ヲ開始
一五五五	右舷中央左舷後部各一個宛被爆機械室 亀列衣浸水
一六〇〇	機銃焼夷弾電信室ニ命中發火總員消火作業
一六一〇	同機械室艦橋及前部艙ニ命中火勢擴大
一六二五	機密書類圖書全部艦橋ニテ焼却
一六三〇	敵機退去
一九五〇	火勢強烈浸水多量ニ依リ總員退去
二〇三〇	沈没(位置マリバ泊地九四米高地西側陸岸ヨリ米)

(二) 作戦ニ影響セル事項

戦斗中十三耗機銃、被弾ニ依ル使用不能ガ本艇ノ被害ノ最大原因ト思考ス對空火器ノ増設ヲ急務ト思惟ス

四 戦果及被害

(一) 戦果 撃墜 「グラマン」戦斗機一機

兵功績

(二) 被害

撃破「グラマン」戦闘機一機
本艇沈没戦死(痛人)戦傷三(兵一痛人二)

九月九日ニハ敵「グラマン」戦闘機一機撃墜更ニ十四日同一機ヲ撃破
(不確實)セルハ功績顯著ニシテ十三耗機銃員ノ共ニ
第二ヲ下ラサルモノト認ム

(終)

1690

昭和十九年十月二十二日

第十五號驅替特務艇戰鬥詳報

一、形勢

マニラ港ヨリセブ方面物件輸送航行中「マエストレダカンボ島」西方ゴンセブシヨン沖ニテ坐礁後應急處置ヲ講ジ十月二十二日〇一四〇離礁ニ成功セリ。九三〇諸物件積込ノ爲第三新泰丸ニ横着ケ一〇〇爆雷以外ノ積込ヲ終了シアリ。

二、經過

月日	天候	時刻	自艦ノ戰鬥經過	記事
一〇三	晴	一一三八	敵「ソリデー」ト一機南方ヨリ上空五〇〇米通過ス	
		一一四二	頂界線北方ニテ及轉我ニ向ツテ銃撃す	
		一一四二	對空戰鬥	
		一一四三	敵第三撃ニ依リ機銃施回不能燃料タンク發火	第三新泰丸右舷火災
		一一四四	第三撃被撃ニ依リ爆雷誘爆後部艦橋破壊飛散火災	
		一一四六	機関室發火煙突附近ヨリ前方ニ延焼	
		一一四七	横付用ホーサ燃燒	

		一二〇〇	總員退去
	一二〇七	本艇沈没	
			退去中銃撃ヲ受ク

三 戦果及被害

(一) 戦果
(二) 被害

無

イ 戦死者 准士官二 下士官七 兵五
 ロ 生存者 特務士官一 下士官六 (一名第百三海軍病院入院中)
 以上十一月二日〇七〇〇「マニラ」着(第百三消滅艇乗艇)

(終)

1692

為参考

昭和十九年九月十四日

第五號輸送艦戰鬥詳報

一 形勢

菲島「ミンダオ」島方面ハ敵替跳梁シ昭和十九年九月一日以降同島竝ニ周邊ニ敵機ハ編隊ニ依ル銃爆撃ヲ開始特ニ「ダバオ」「サランガニ」方面ノ施設及艦船ニ對スル攻撃ハ激化シアリ

二 計畫

昭和十九年九月十三日補給杜絶シタル「ダバオ」方面海軍部隊ニ對スル軍需品輸送ノ任務ニ基キ同日第三号輸送艦ト前後シテ「ダバオ」港内ニ突入シ急速揚陸ノ後翌未明迅速ニ避退セント企圖ス

1693

三、經過

(一) 自艦ノ戰鬥經過

月日	時刻	自艦ノ戰鬥經過	友軍戰鬥經過概要
九一四	晴	〇五・五 物件ヲバオ港揚陸完了出港	
		〇七・〇 敵艦載機ノ編隊ヲバオ地区東襲	バオ地区警備部隊 地上砲火ニテ應戰
		〇七・五 敵機ノ戰鬥機ニ〇機以上ヲ襲	
		〇七・五 對空戰鬥	
		〇七・五 敵機ヲ六度ヨリ一八度ヲ何ニ轉舵	
		〇七・六 敵機及覆急降下銃爆撃開始	
		〇七・六 二七〇度襲針	
		〇七・五 グラマン戰鬥機一機撃墜	
		〇七・二 左舷後部ニ爆彈三發命中	
		〇七・二 沈没北緯六度四九五分東經一二五度四二二分	

(二) 作戰ニ影響セル事項

單艦ヨク敵編隊ト交戦之ニ脅威ヲ與ヘ得タルハ本艦ノ對空
裝備ノ從來類似ノモノニ比シ優秀ナリシガ爲ト思惟ス
四 令達報告等

不明

五 戦果及被害

(一) 戦果

グラマン戦闘機一機撃墜

(二) 被害

本艦被爆沈没 乗員二名以外所在不明

六 功績

單艦獨集セル敵機群ト交戦屢々之ヲ却ケ中一機ヲ海中ニ
撃墜セシニ依リ其ノ功績ハ等級第二ニ該當スルモノト認ム

(終)

参考

昭和十九年

自九月十四日
至十月二十八日

第三號輸送艦戰鬥詳報

形勢

菲島「ミンナオ」島方面ハ敵潜水艇梁シ昭和十九年九月一日以降
同島「同邊」ハ敵機ハ編隊ニ依ル銃爆撃ヲ開始特ニ
「ダバオ」サランガニ方面ハ施設及艦船ニ對スル攻撃ハ激化シアリ

二 計畫

昭和十九年九月十三日補給杜絶シアル「ダバオ」方面海軍部隊
ニ對スル軍需品輸送ノ任務ニ基キ同日第五號輸送艦ト
前後シテ「ダバオ」港内ニ突入シ急速揚陸ハ後翌末明迅速
ニ撤退セント企圖ス

三 經過

月日	天候	時刻	自艦ノ戰鬥經過	記事
九月十四日	晴	〇三三〇	「ダバオ」揚物件揚陸後撤退「サランガニ」海峡接岸航行中 「ナカカ」岬燈台ハ八度四五理（N. 25° 45' E. 13.2）ニ於テ触礁セル モ直ニ離礁船体ニ異状ナキモ推進軸屈曲ノ為航行不能 ナレリ	

九一四	〇四〇〇	再び正流セラレ艦尾坐礁シ推進器及同軸破損機械使用不能トナル	
九一五	一二二五	敵潜水艦ヨリ魚雷四本ヲ受ケ内二本後部ニ命中重油ヲシク破裂炎上總員(戦死者二名外)退去ス	
九一五	一五三〇	「グバオ」ニ向陸路行軍出發	士官三 兵一戦死
九一八	一三三〇	米人ヲシキ者、指揮スル土人ヨリ射撃ヲ受ケ	
九一八	二〇〇〇	第一回連絡隊トシテ「グバオ」ニ向ケ一〇名短艇ニテ出發消息不明	
九二六	一五〇〇	第二回連絡隊「グバオ」ニ向ケ土名短艇ニテ出發消息不明	
九二七	〇五〇〇	第一、二回連絡隊ノ連絡ナキヲ以テ白石大尉以下本隊一四二名陸路「ガラシガ」ニ向ケ行軍出發	
一〇一	〇八〇〇	「ガラシ」附近ニテ輕機三ヲ有スル有カナル敵ニ遭遇攻撃ヲ受ケ部隊分散	二十三日迄ニ到着者、言ハズ後日數回ニ亘リ殘敵及土ノ襲撃ニ遭ク
一〇一五	一五五〇	生存者七名「ガラシガ」ニ設営隊着	二十三日迄ニ逐次到着計十六名トナル
一〇二四	〇七〇〇	生存者九名健康者、ミ陸軍部隊ニ隨行「グバオ」ニ向ケ行軍出發	
一〇三八	一〇〇〇	三十二特根司令部署	同隊兵入隊

四、令達報告等

不明

五、戰果及被害

(一) 戰果
(二) 被害

口 本艦 乗員 現 坐礁 炎上 況

種別	准士官以上	下士官兵	計	記事
戦死者	四名	二七名	三一一名	(一) 戦死確認し得サルモ大多数ハ戦死ノ算大ナリ (二) 名簿中兵科下士官兵七名姓名不明者アリ
行方不明者	九名	一二二名	一三一名	
生存者	一名	一七名	一八名	「ミラ」入院中・兵二名ヲ含ム
	一四名	一六六名	一八〇名	

(終)

自昭和十年二月一日
至昭和十年三月十日 第三十二特別根據地隊戰時日誌

一、經過
敵情並ニ作戰概要

(イ)「コリアナ」諸島方面ヨリ本土ニ對スルB29來襲激化ト共ニ敵ハ本土攻略ノ爲
前進基地獲得ヲ企圖シ機動部隊ノ全カヲ擧ゲテ關東地區並ニ南
方諸島ニ對シ熾烈ナル空襲ヲ實施シタル後 十九日硫黃島ニ上陸ヲ開
始セリ
菲島方面ニ於テハ敵ハ三日「マニラ」突入以來同方面一帯ニ亘ル攻略戰
ヲ展開 更ニ十六日「コレヒドール」島、二十日「ビリ」島、二十八日「ホー
トプリンセサ」ニ上陸「マニラ」方面ノ戰況一段落ト共ニ其ノ攻略企圖ハ
漸ク菲島全般ニ指向セラルルニ至ル

(ロ)「ミンダナオ」方面ハ本月中旬頃ヨリ敵機來襲増加シ「ダバオ」地區ニ
於テハ特ニ十八日ヨリ戰爆聯合大擧侵入「ラサン」飛行場及海岸地帯ニ
對スル銃爆撃並ニ偵察極メテ執拗ニシテ恰モ敵前上陸直前ノ如
キ様相ヲ呈セリ
「カガヤン」南方三十料「タラカグ」ニ於テ敵匪約千名ハ一月ヨリ飛行
場設定ヲ開始 二月六日以來屢「ダグラス」(直掩戰闘機ヲ附ス)ノ發

經過一

1699

着スルヲ認メ所在陸軍部隊ニ依頼討伐竝ニ飛行場破壊ヲ實施シテ
ルモ同隊帰還後依然敵ハ同飛行場ヲ使用シツツアリ
「ミンダナオ」東海岸(特ニ「マテ」附近)ニ對スル敵機來襲激化ノ狀
況ト共ニ敵南菲攻略ノ近キニアルヲ示唆シアリ

(ハ)「ダバオ」周邊地區ニ蟠踞スル敵匪ハ諜報擴充ニ努カメ執拗ニ我が軍
情諜知竝ニ食糧蒐集ニ奔走シアリ陣内潜入敵諜報員ニ關シテハ
各部隊共依然警戒ヲ嚴シシ之ガ摘出撲滅ニ努メツツアリ

(ニ)客年八月魚雷艇基地(「ラカコン」)撤收後同隊殘置中ノ燃料回收ノ
目的ヲ以テセロヨリ二日間ニ亘リ「ラカコン」附近ノ敵匪ハ湯ヲ實施
シ豫期ノ成果ヲ擧ゲ得タリ

(ホ)戦局情勢ノ急変ニ依リ離隔地見張所派遣隊等ニ對スル補給殆ド
不可能ナル現狀ニ鑑ミ速ニ自給自足竝ニ自衛對策ヲ執ラシムルト
共ニ之ガ實施困難ニシテ戦局上「ダバオ」集中ヲ可ト認ムルコヒナツ
「アン」見張所ヲ先ヅ「ブツアン」ニ「カガヤン」連綴基地隊ヲ「ダバオ」
ニ轉進セシメツツアリ且「マナイ」見張所ハ「ダバオ」ニ轉進豫定ナリ

(一) 第三十二特別根據地隊
主要職員官氏名

人員現狀

人員現狀 二

區

司令部附	第二隊一中 （小隊長第六分隊士	少尉	贊直彌
同	第一中隊長第八分隊士	同	松本茂
隊附	同	同	渡邊增太郎
同	一中三小隊長第六分隊士	同	藤岡四郎
同	四中三小隊長第八分隊士	同	赤川唯雄
同	大隊附 第六分隊士	兵曹長	山田初美
同	大隊指揮小隊長第九分隊士	同	門田忠太郎
同	本部附 第六分隊士	同	菟原正二
同	大隊附 第六分隊士	同	濱井一茂
同	同	同	藤澤一男
同	三中機小隊長第八分隊士	同	井上進一
隊附兼分隊長	同 照空隊長	同	石原康之
隊	第二大隊 （水雷長航長機雷長職務兼行	大尉	山縣有信
隊附兼分隊長	第二隊第二中隊長第十分隊長	中尉	齋藤喜八郎
隊附	第三中隊長第十分隊長	同	宮崎元吉
同	一中三小隊長第九分隊士	少尉	石川喜重郎
同	一中一小隊長第九分隊士	同	直井源八
同	四中指揮小隊長第十分隊士	同	武部文三
同	三中本部附第十分隊士	同	島田保正
同	三中小隊長第十分隊士	同	

人員，現狀

1705

[illegible]

1707

69

(四) 陸軍 下士官兵總員數

記事	員數	種別	士官	特准	下士官	兵	雇傭人	其、他	計
一、第五十五號 驅潛艇不明	一六四								
二、千七百五十六名ヲ含ム	二四六								
	一、九八四								
	五、一三六								
	六、四四三								
	一、一二一								
	一、五〇九								
	四								

人員現狀 五

(二) 下士官兵其、他員數

記事	員數	兵種	兵科	飛行科	整備科	機關科	工作科	軍樂科	看護科	主計科	其、他	合計
陸軍 七四五名ヲ含ム	二五三三											
	一											
	三九九											
	四四											
	七五											
	一四六											
	二二二											
	四三二〇											

1700

三、令達報告等

発元時	宛日(通時)	令達報告等	種別
三日二〇三〇 三二特根司令官	三南道長官	「ヒナツアン」見張所ハ二月二日撤収(電探暗號書處分)所員ハ陸軍部隊ト共ニ「ファッアン」ニ向ケ出發セリ	無電
四日 〇七三五 三三警司令	海軍大臣 軍令部總長 舞鎮長官 (三南道長官) (三二特根司令官)	「ハ代丸(特設驅潜艇)昨年十一月十三日「グダット」港内ニ避泊中一二五五B4一機來襲激衝ナル銃爆撃ヲ受ケテ機體ヲ蒙リシガ更ニ二十九日一二一五B4二機三十日二四〇〇同機ノ直撃ヲ受ケテ機體關破壞浸水欄坐セリ同艇ノ引揚ハ連日敵機ノ狀況ニ於テハ困難ナリ 二艇長指揮官重傷、爲入院下士官兵十名船員十五名ハ「ババツク」派遣隊ニ假入隊中	同
一日〇八三〇 第十三 京丸艇長	一日一五三七 「根」司令官	二月十日附下士官兵總員第四補充部ニ轉勤セシメ准士官以上ハ吳ニテ残務整理ヲ行フ	同
一日一五五七 下松丸艇長	一日一九一〇 三南道長官 (三二特根司令官)	一月二十八日艇長交替本艇二月二十五日諸修理完成下架ノ見込爾後ノ行動ニ関シ更メテ指示ヲ得度	同

令達報告等

一

1710

71

一四日二二〇五 三三特根 參謀	一五日〇〇四〇 三三警司令 (三南遣長官)	離隔地見張所派遣隊等ニ對スル補給殆ド不可能ナル現狀ニ鑑ミ速カニ自給自足並ニ自衛對策ヲ執ラシムルト共ニ之ヲ實施スルニシテ且作戰上存置ノ必要ヲ認メザルモノハ適宜整理セシメラレ度内意ナリ 目下「ロナツアン」見張所員ハ「アツアン」ニ「カガヤン」連綴基地隊員ハ「ダバオ」轉進中ナリ又「マナイ」見張所員ハ近ク「マテ」ニ轉進予定ナリ	無電
一八日〇九〇五 三三特根司令官	三南遣參謀長 (南西艦隊參謀長 「カガヤン」)	三三特根「カガヤン」連綴基地隊「ダバオ」軍需部「カガヤン」出張所ハ本月十七日引揚ヲ完了セリ	同
一八日一二四五 第一次 回航指揮官	一八日一四二〇 第一土魚雷艇司令 (三三特根司令官 三南遣長官)	準六四號艇「ツマゲテ」棧橋ニ於テ銃撃ニ依リ被彈沈没人員異常ナシ	同
二〇日〇九五〇 三三警司令	二〇日一九一〇 三南遣長官 三三特根司令官 (南西方面艦隊長官)	「ジバコ」見張所ハ作戰上價值少ナキヲ以テ「サンボアンガ」ニ轉進活用セシムルコト、シ三月十日之ヲ實施スル豫定ナリ	同
一九日二二三五 三三特根司令官	南西方面艦隊 參謀長 (三三特根司令官)	當隊配屬第六震洋隊ハ目下「ボルネオ」島「サンダカン」ニ在ルモ南西方面輸送ノ途全ク無ク且通信連絡モ意ノ如クナラズ此ノ際同隊ヲ三三特根ニ配屬變更ヲ適當ト認ムル意見ヲ有ス可然御取計ヲ乞フ	同

令達報告等

ニ

1712

三三〇一三三 三三二特根 司令官	三三三警備司令 三三三特根司令官 三三三南邊長官 三三三南西方面艦隊 三三三バラバツク派遣隊	三三二警備部隊電令作第七號 三三三警備司令ハバラバツク派遣隊及「シバコ」見張所ノ配備ヲ撤シ 同隊ヲ夫々「グダット」及「サンボアング」又ハ「バシラン」島ニ轉進 セシムベシ	無電
二六日一〇四八 三三二特根 司令官	魚雷艇基地 司令官	三三二警備部隊電令作第八號 「タバオ」灣部隊編制中第二攻撃隊「セブ」面航予定中ノ 魚雷艇第四五六六六號隼艇第五六六八六九號ヲ 加フ	同
二〇日 三三三警備 部隊指揮官	三三三警備部隊	機密第三三三警備部隊命令作第四號 一部配備ヲ變更シ敵邀撃態勢強化ノ件	文書
二八日 同	同	機密第三三三警備部隊命令作第五號 南菲空陸戰部隊編入ノ件	同
七日 同	同	機密第三三三警備部隊命令作第一四號 機密第三三三警備部隊命令作第五號ニ依ル陸戰教育各種 兵器教練射撃演習ノ件	同

令達報告等

三

1714

同 一九日	同 一七日	同 一七日	同 一八日	同 一四日	六日 三十二警備 部隊指揮官
同	同	同	同	同	三 備部隊
機密第三十二警備部隊命令第二〇號 「ダバオ」方面特設海軍軍法會議職員發令ノ件	機密第三十二警備部隊命令第一九號 代燃車整備代用燃料ノ生産ヲ實施ノ件	機密第三十二警備部隊命令第一八號 機密第三十二警備部隊命令第八號應急陸上運輸訓 練實施計畫中改訂ノ件	機密第三十二警備部隊命令第一七號 「ダバオ」地區（デゴス地區ヲ含ム）ニ於ケル漁撈ヲ實施ノ件	機密第三十二警備部隊命令第一六號 速カニ乙ニ標的隊ノ全能發揮ニ遺憾ナカラシムルト共ニ乙ニ 標的隊ノ前進基地トシテ利用スルニ支障ナカラシメント スル件	機密第三十二警備部隊命令第一五號 機密第三十二警備部隊命令第二三號中「ダバオ」地區部隊 戰闘編制常務編制ノ改正
同	同	同	同	同	文書

1715

23.

四、參考

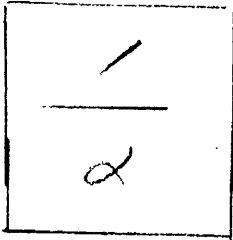
同 二十日	同	機密第三十二警備部隊命令第二一號 特設科學班長 兵器班長ヲシテ化學藥品生産實施ノ 件	文書
同 二十日	同	機密第三十二警備部隊命令第二二號 第三十二警備部隊糧食自足計畫ノ件	同
同 二十日	同	機密第三十二警備部隊命令第二三號 警察隊配備一部変更ノ件	同
同 二十八日	同	機密第三十二警備部隊命令第二四號 後方輸送演習實施計畫	同
同 二十八日	同	機密第三十二警備部隊命令第二五號 既設陣地ノ交換及一部施設ノ急速設営ノ件	同
同 二十八日	同	機密第三十二警備部隊命令第二八號 「タバコ」方面（「デブス」方面ヲ含ム）主食品生産隊實施 計畫ノ件	同

令達報告等

四

1716

分割撮影ターゲット

分割した 部分の撮 影 順 序	
分割撮影 した 理 由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを 証明する 61年 8月18日 主務者又は 撮影立会者 金沢悦夫 (印)	



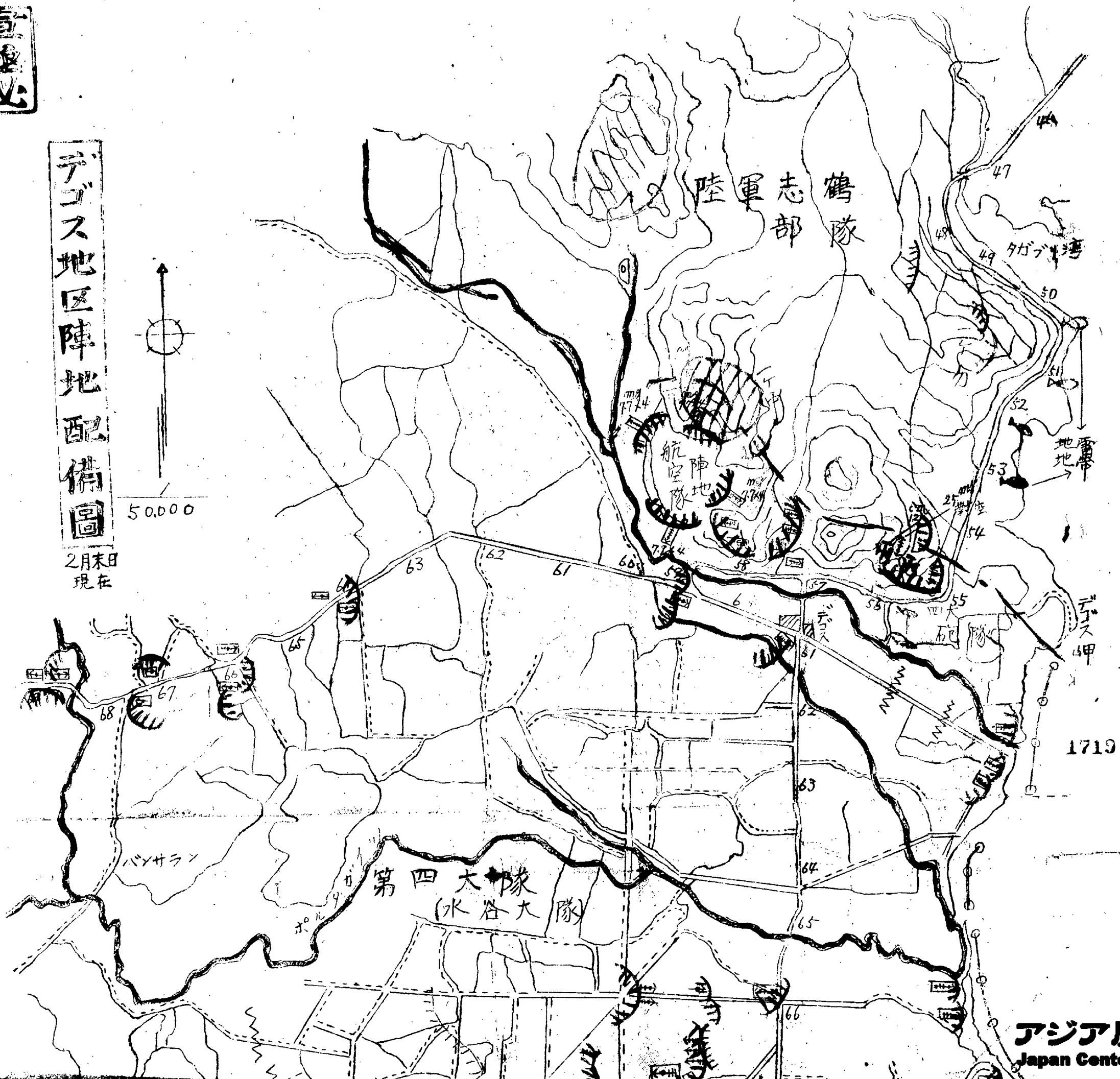


ダバオ地区陣地配備圖(ニ昧期)
1:50,000 縮圖

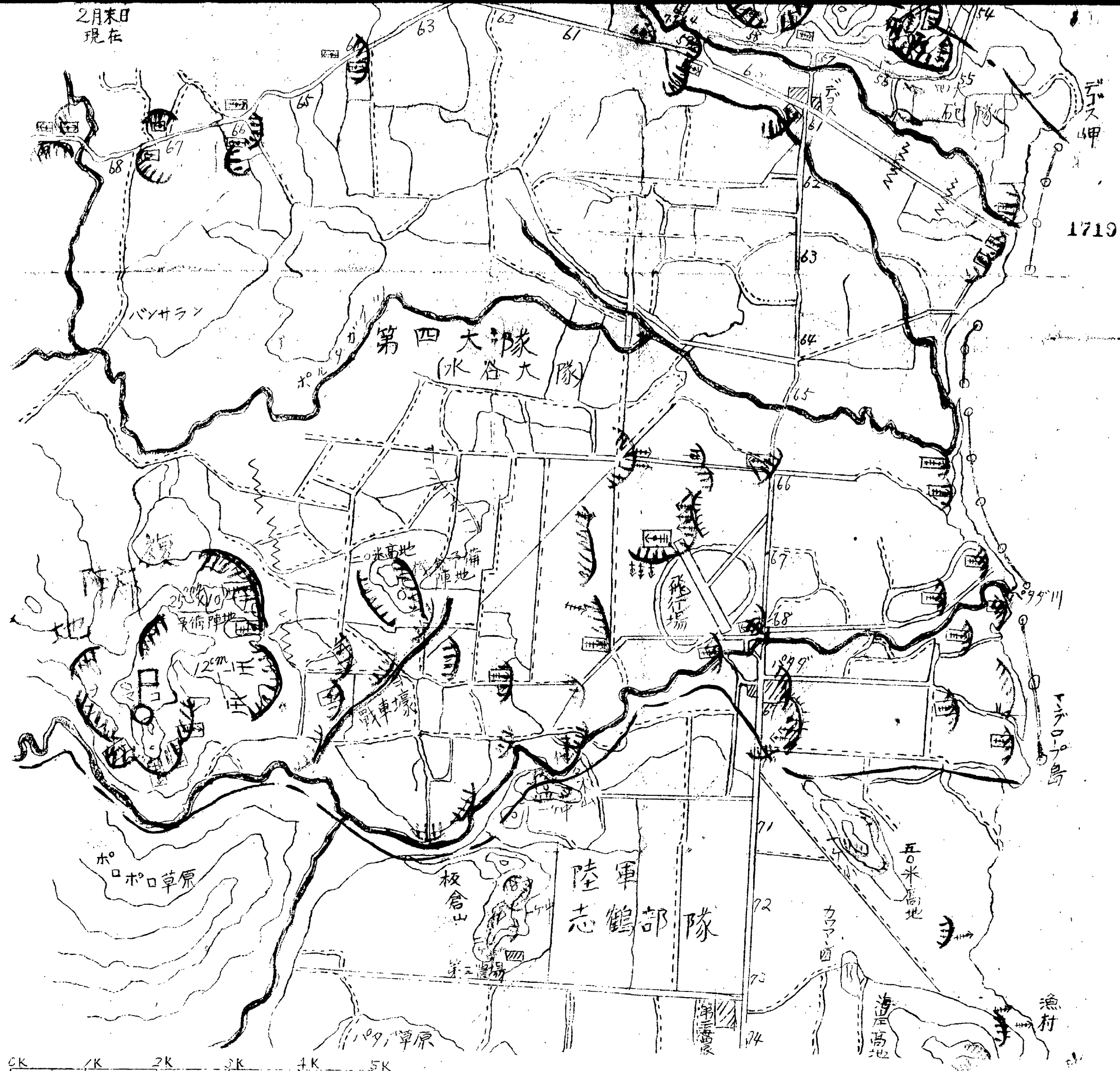
軍秘

デブス地区陣地配備図

2月末日
現在



2月末日
現在



サラニガニ地区陣地配備圖(昭和20.3.8現在)

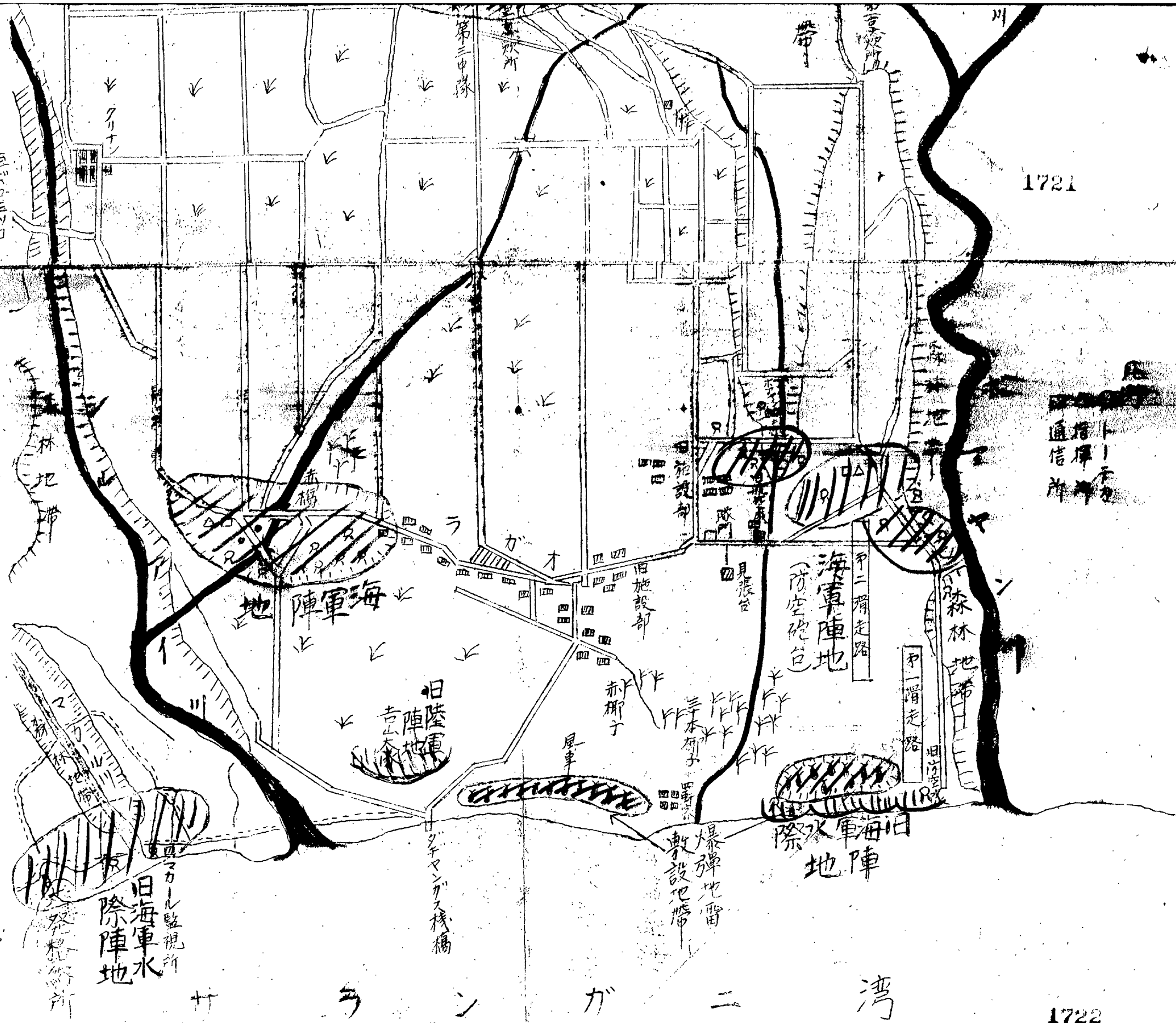
秘

田海軍警備部隊(三)設営隊本部地域
ニシテ復原陣地設定位置
残地部隊主力トシテ陸軍中隊之ニ代リ
海軍警備隊(防砲砲台員三)設営隊員航空
機員此ノ位置ニ合同スル豫定



航空

五ボロモツ
マルツバル



1721

通信所
信号所

海軍陣地
(防空砲台)

第一滑走路

旧海軍水際陣地

爆弾地雷敷設地帯

旧陸軍陣地

海軍陣地

旧海軍水際陣地

0 1km 2km 3km 4km 5km 6km

35000

1722

77.

五、作戰經過概要

昭和二十年二月 第三十二特別根據地隊

日	一	二	三	四
在所	ガ	バ	オ	
氣象	曇 晴 曇	曇 晴 曇	曇 晴 曇	曇 晴 曇
視界	五〇 五〇 五〇	五〇 五〇 五〇	五〇 五〇 五〇	五〇 五〇 五〇
一般任務	第一聯隊合艦隊南			
特別任務	一、擔任區域防備警備			
經過概要	〇九五 P38 二機偵察 二三五 P38 二機偵察	〇九五 P38 一機偵察 二三五 P38 二機偵察	〇九五 P38 一機偵察	〇九五 P38 一機偵察 〇九〇 P38 一機偵察 〇一〇 P38 一機偵察 〇一五 P38 一機偵察 飛行場及タロエ河口爆撃
記事	二三五 P38 一機「ガバオ」方向進ム	〇七三〇 西方ニ爆音 一六〇 P38 五機北東ヨリ北西進行	一〇〇〇 P38 一機北西行	〇九〇〇 P38 一機偵察 二二〇〇 P38 一機偵察 二二〇〇 P38 一機偵察 二二〇〇 P38 一機偵察 飛行場銃爆撃

作戰經過概要

78

一四	三	二	一	〇	九
----	---	---	---	---	---

才

〇四 三〇 静穏 晴	二〇 二六 静穏 晴	〇四 二二 静穏 晴	〇二 二八 静穏 晴	〇四 三二 静穏 晴	〇四 三二 静穏 晴
五〇 六二 NE 本曇	五〇 三九 NE 本曇	五〇 三〇 NE 本曇	五〇 二九 NE 本曇	五〇 二九 NE 本曇	五〇 三二 NE 本曇
一〇 三二 SE 本曇	五〇 二九 SE 本曇	五〇 二六 SE 本曇	一五 二六 SE 本曇	二〇 二六 SE 本曇	二〇 二六 SE 本曇

備

警

三	第	隊	艦	造	南	三
減	擊	敵	來	三	備	整
地	基	力	兵			

〇八四 P-38 三機 第二回附近銃撃 二四五 B-24 一機 南下	〇九三 P-38 三機 北行 偵察 一二〇 P-38 三機 第一回附近銃撃 ソコ見張所員がムト着途 中匪賊と交戦被害戦死三名	〇八四 P-38 三機 飛行場附近銃撃 飛行場附近銃撃	〇八五 P-38 二機 第二回 附近銃撃 一六〇 P-38 二機 一七〇 B-24 二機 通過	〇八三 P-38 三機 偵察 一五五 西方二機 爆音	〇八三 P-38 一機 北西行 〇九八 P-38 三機 南東二機 一五五 P-38 二機 南方方向南行
〇九二 P-38 二機 西行	一〇四 P-38 一機 南東行 一五三 P-38 三機 北東ヨリ南行	〇八四 P-38 三機 飛行場ヲ銃撃 〇八五 P-38 二機 テラス 飛行場 爆撃 南方ニ云ル	一六〇 P-38 二機 偵察 一六三 P-38 二機 偵察		
	被害 主道大路 被弾三発	戦果 撃墜 P-38 一機			

作戦経過概要

二

1725

79.

二 四	二 三	二 二	二 一	二 〇
--------	--------	--------	--------	--------

才

〇四 三二 静 高雲	〇四 三二 静 高雲	〇四 三二 静 高雲	〇四 三二 静 高雲	〇四 三二 静 高雲
五〇 三二 平雲	五〇 三二 平雲	五〇 三二 平雲	五〇 三二 平雲	五〇 三二 平雲
二〇 六四 静 平雲	二〇 六四 静 平雲	二〇 六四 静 平雲	二〇 六四 静 平雲	二〇 六四 静 平雲

隊

隊

地

張

見

七

送

〇九三〇三機、バカニ機橋及 第一飛行場指揮所前各一機 投弾 〇九三五二機、R38二機、 バカニ機偵察、二二〇二機、 B24機、バカニ機、バカニ機、 近海岸爆撃手南方ニ去ル	〇八三〇一六三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃
〇九三〇三機、バカニ機橋及 第一飛行場指揮所前各一機 投弾 〇九三五二機、R38二機、 バカニ機偵察、二二〇二機、 B24機、バカニ機、バカニ機、 近海岸爆撃手南方ニ去ル	〇八三〇一六三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃
〇九三〇三機、バカニ機橋及 第一飛行場指揮所前各一機 投弾 〇九三五二機、R38二機、 バカニ機偵察、二二〇二機、 B24機、バカニ機、バカニ機、 近海岸爆撃手南方ニ去ル	〇八三〇一六三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃	〇八五〇一五三機、R38二機、 機、R38二機、B24機、 第一飛行場附近及、バカニ機、 区爆撃

作戦経過概要

三

1727

二六	二七	二六	二五
オ	バ	ダ	
〇ニ 三三 五〇 五〇	〇ニ 三三 五〇 五〇	〇ニ 三三 五〇 五〇	〇ニ 三三 五〇 五〇
本雲 高雲 晴	本雲 同上 同上	晴 晴 高雲	雨 本雲 本雲
〇六五〇一〇七〇 〇八五〇一〇六〇 行場銃爆撃 一〇五〇一〇五〇 行場爆撃 ヒナツシ見張所員「シバカ ット」(フツシ「三〇度二五新」 ニ進出ス	〇八三〇一〇五三五 〇八四〇一〇四三五 場銃爆撃 岸銃爆	〇九三〇一〇九三〇 〇九三〇一〇九三〇 北東行 北東行	〇五二〇一〇一〇 〇三九〇一〇三三 南行
〇八五〇一〇五五 〇八五〇一〇五五 南東ニ爆音 一〇二〇一〇二〇 回南方ニ云ル	〇八四〇一〇四三五 〇八四〇一〇四三五 場銃爆撃 テグス「飛行	〇九二五〇一〇九二五 東方ニ爆音	〇三四〇一〇三四〇 北方ニ爆音聴取
戦果ナシ 被害 被弾 主滑走路五發 補助滑走路 誘導路五發			